

奈良・人と自然の会

第5回東海自然歩道・自然観察会 (山辺の道Ⅲ)に参加して



塚本 彰

東海自然歩道・自然観察会に興味を持ちながら、今まで都合が悪くて参加できませんでしたが、今回始めて、山辺の道Ⅲに参加させて頂きました。

桜井駅に集合した33名の参加者の方々とマイクロバスで三輪駅近くまで移動し、酒の神様である大神神社で初詣の後、長岳寺―石神神社―天理駅までの16kmを歩いてきました。このコースは背景に三輪山、耳成山、畝傍山を配し、多くの歌碑があり、古代のロマンに遊ぶ道とも言える。また、柿や柑橘類も生産され、特に収穫に適するように加工された柿の樹形は葉の無い季節でも始めて見る者にとって惚れ惚れするものがある。

田園地帯を歩きながら、えも言われぬ艶やかななロウバイの花、ピナンカズラやクロガネモチの赤い実、センダン白い実とその中に隠されている核の幾何学模様、ナンテンとシロナンテンの赤と白の実のコントラスト、ヤブミョウガの藍紫色の実、紋の模様のあるモンツキウマゴヤシ、などを皆様と一緒に観察したり、説明を受けたりした。メジロやエナガなどの小鳥を観察したり、軒先きに吊り下げられている花ナスのドライフラワーを見たりしながら歩いていると、何時のまにか石上神宮に到達してしまった。

天候にも恵まれ、楽しい、充実した観察会であった。参加せれている方々も、自然観察に関して博学の方々が多く、気軽に尋ねるとその背景のことまでも教えて頂け、頼もしい限りである。

この会は、本来奈良の方々の会合かもしれないが、他地域から参加すると、違った驚きや新鮮な発見があるのではないのでしょうか。下見や資料作りなど準備が大変な労力と思いますが、この会が永続的に発展することを念願してやみません。



新春講演会を了えて

川井 秀夫

松の内が明けた1月18日。奈良文化会館において、県の支援を受け、当会の1周年記念講演会が開催されました。来場者30名。講師に昆虫学会直翅類の権威である河合正人氏を迎え、立派なレジュメ、スライドを交えた講演にあつという間の時間を過ごし、来場者と新しい知識を共有し、有意義な講演であつたと思います。

なかでも、蝶の食物の棲み分け、植物との相互依存、特に植物の毒性酵素を分解する昆虫の話、またそれを越える植物の生きる知恵との葛藤、昆虫達の成育生活環境になる植物群、蝶と蛾の相違点等々、進化と言うか、共進と言うか、この小さな世界にも不思議な自然の摂理と生命の逞しさ、ミクロの観察眼を養う必要を痛感致しました。

時間不足が否めず、講師との質疑応答が消化不足であつた事は残念でしたが、季節の訪れを待って、河合講師を迎え、野外での勉強会を企画したいと思っております。

当日ご来場の会員の皆さん、設営にお手伝い頂いた幹事諸氏に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

家の近くの野鳥たち



香芝市 押元 誠

2月1日、先日来の雪の残る日の朝、我が家から双眼鏡を持って、いつもの場所をあるいた。

玄関を出ると、さっそくスズメがにぎやかに屋根や電線を飛びまわっていた。きっと巢に適した場所を探しているのだろう。しばらく住宅街を歩く。空き地でツグミが頭をあげてこちらを見ている。ムクドリが2羽電線に飛び立つ。

住宅街を出ると、田や畑に続いて雑木林が広がる。用水路からセグロセキレイが飛び立つ。畑で歩いているのはキジバトだ。ハシボソガラスやヒヨドリが鳴きながら飛んでいく。畦道を通って雑木林に入る。メジロがせわしなく木の幹から枝へと飛び回っている。ホオジロのさえずりが聞こえる。この冬初めてのさえずりだ。もう春が近いのかとうれしくなってくる。ウグイスはまだ地鳴きだ。

雑木林をぬけるとため池が見えてくる。冬の間、水を抜いているので水鳥は全然いない。池の周りに沿って歩くとアオジが飛び立つ。池を過ぎて、農家の前を通って、神社へ向かう。神社の横道を通ると、再び小さなため池がある。アオサギが飛び立って悠然と雑木林を越えていく。モズが枯れ木から下を眺めている。

ため池を通り過ぎると広い田んぼに出る。畦道を通って別の雑木林に向かう。ハクセキレイが鳴きながら飛んでいく。ケリが3羽白い鮮やかな羽を見せて逃げる。林と田の境の畦道を歩く。放棄した田には雑草が枯れて残っている。シロハラが警戒音を発して林の中へ走るように飛んでいく。地面で枯葉をひっくり返していたのは、ルリビタキだ。小さな鳥が数羽、近くの雑草の中から遠くの土手の枯れ木にとまる。カシラダカだ。

だんだん高くなっていく田の終わりに、林に囲まれた小さなため池がある。このため池は、人もあまり近づかず水鳥にとっては安心できる場所だ。音を立てないように堰堤を登り、笹の間から顔だけ出して水面を見る。氷が一面に張っているが、カモたちが一箇所に固まって動き回っている所だけ水面が見られる。ハシビロガモが8羽ぐるぐる回ってシャベルのような嘴でえさを食べている。他には、マガモも2羽、カルガモが10羽、トモエガモも2羽いる。一番近くのマガモが、不審な侵入者の存在に気づき一声鳴いた。その瞬間、全てのカモが一斉に飛び立って、林の向こうへ去っていった。残ったのは、カイツブリ2羽だけになった。

池を離れ、造成地跡を進む。この場所は、10年以上前から雑木林を切り開き、その後は放置されている場所だ。竹や笹が侵入し、雑草もはびこっている。冬枯れの雑草をかきわけ進むと、小鳥たちが飛び出して逃げる。ホオジロが多い。違った鳥が飛び立ったのでよく見ると、ベニマシコだ。ホオジロには悪いが、うれしくなってくる。ちょうどよい石があったので腰をかけて一服する。静かだ。耳を澄ますと、様々な地鳴きが聞こえてくる。じっとしていると、地鳴きはだんだん近くなり、姿も見えるようになる。

一服を終えて、再び歩き始める。大きな池が見えてくる。この池も氷が張っている。スコップを取り出して、水際を見る。池に覆いかぶさった木の下は、氷も張っていないので何か野鳥がいるはずだ。コガモが数羽首を背に入れて眠っているのが見えた。カルガモが4羽、カイツブリが2羽いた。

池から、果樹園や墓地の横を通って丘陵を越える道を進む。コゲラが鳴きながら飛んでいるのが見えた。ハシブトガラスもいた。丘陵を越すと、古い集落が現れ、広い田に続く。田から、たくさんのスズメが飛び立って電線に並んで止まった。100羽以上の群れだ。田の畦道を通って葛下川の土手を歩く。カルガやモコガモがいる。コサギが忍び足で小魚を狙っている。パンがせわしなく泳いでいる。川岸の雑草からジョウビタキが1羽飛び出した。カワラヒワも数羽鳴きながら飛んでいく。川の対岸は開けた田が広がる。電柱を1本ずつ眺める。いたいたチョウゲンボウだ。電柱の先で羽づくろいをしている。毎年、冬になるとやってくる。今年も会えてよかった。もっとしっかり顔を見たくて、畦道をそっと近づいた。メスだった。あまりに近づきすぎたので彼女は仕方なく3本さきの電柱へ渋々飛んでいった。再び川まで戻る。足元からヒバリが飛び去った。

そろそろ、歩き疲れてきたので、丘陵の雑木林を越えて、別の道を家路につくことにする。帰り道もどんな野鳥に会えるか楽しみだ。

今日、回った所は、特別に自然が豊かな場所でもない。ごく普通の里山である。犬の散歩やランニングをする人、つりの人、畑仕事をする人たちがいる。そんなごくありふれた場所で30種類以上の野鳥と出会うことができた。これからも、たくさんの野鳥がすむ事のできる環境を大切にしていきたいと思う。

ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

第7回 東海自然歩道・自然観察会のご案内

東海自然歩道の自然観察会も全コースの後半に入り、「花のみてら」長谷寺から鳥見山公園を経て玉立橋の間、早春の標高400～500米前後の尾根道と「まほろば湖」辺りの自然観察会を行います。気楽にご参加ください。

〈コース名〉 ⑦ 鳥見山公園 (とみやまこうえん) [12km]

〈日時〉 3月8日(土) 9時50分 集合

〈集合場所〉 近鉄榛原駅 : 南口バス乗り場

近鉄ナンバ〔奈良行快急〕8:44発…鶴橋8:50乗換〔青山町行急行〕8:55発…八木9:32…榛原9:45

〈行程〉 近鉄榛原…玉立橋～鳥見山公園～まほろば湖～近鉄長谷寺

〈担当〉

谷口 暁

寺田正博

弓場厚次

<第8回東海自然歩道観察会は4月7日(月)です>

ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

[3月度例会]のご案内 早春の森野旧薬園

徳川吉宗の薬草探し以来、江戸時代の薬草栽培の地として現在は国の史跡にも指定され、250種もの薬草が春の光を浴びて一斉に生育を始める薬草園。また開花には少し早い「又兵衛桜」の花芽の観察や大宇陀町の歴史文化館「薬の館」で薬の歴史を学習をしませんか。気楽に参加ください。

〈日時〉 : 3月26日(水) 9時20分 集合

〈集合場所〉 : 近鉄榛原駅 南口バス乗り場

近鉄ナンバ〔奈良行快急〕8:14発…鶴橋8:20乗換〔宇治山田行快急〕8:27…八木8:57…榛原9:10

〈行程〉 : 近鉄榛原…大宇陀～森野旧薬園～薬の館～又兵衛桜

〈担当〉 豊島すみ子

弓場厚次

ネイチャーなら
奈良・人と自然の会
[4月度例会]のご案内 葛城山

葛城山頂近傍で、カタクリとショウジョウバカマの
自然派生地を尋ねます。

- <日 時> 平成15年4月19日(土) 集合時刻 未定
<集合場所> 近鉄御所駅改札前
<行 程> 御所駅(バス)→登山口(ロープウェイ)→頂上駅
徒歩→観察→下山
<持ち物> 昼食・観察用具・耐寒服
<天 候> 大雨注意報以上の場合は中止
担当 樋口 善雄

<詳細は4月号にてお知らせいたします>

2003年2月度定例幹事会報告

1. 日 時：2003年2月7日(金) 18:00~21:00
2. 場 所：奈良県立文化会館。2F会議室
3. 出席者：川井、弓場、豊島、勝田、寺田、樋口、小山、野田(欠席者、有本、谷口、大寺)
4. 司 会：川井、 書記:樋口
5. 議事

検討事項(会長)

本会の現行体制では機能的に十分な能力が発揮できないのではないかと、特に役職者の病欠や個人的理由による欠席等で幹事会そのものが成立しかねる状態では、会の運営も危ぶまれる。今後いかにすべきか検討してほしい。

- ① 各部担当スタッフの強化が必要。特に機関紙編集部は病欠療養や長期出張で6月以降はスタッフがなくなる。会員各位からの協力を待つ。
- ② アンケートの結果から協力できる方に個人的に依頼する。
- ③ 機関紙は寄稿がなければ、最低行事の案内と結果報告で締め切り発行する。
- ④ アンケートの実施は各部門への協力依頼への緒口にも利用する。

報告事項

- ① 会員動向・会計報告 前月に同じ
- ② 定例行事 (1) 東海自然歩道観察会 1月12日(日) 28名 全員完歩
(2) 新年講演会: 今後とも河合先生との交流を図りたい。
- ③ 継続交渉中の西大和学園ボラ体験は、3月12日千早赤坂と決定。
- ④ 企画委員会: 1月29日生駒市鹿の台地区公民館にて。新年度行事の協議検討。
(1) 月例行事: 4月19日(土) 葛城山にてカタクリ・ショウジョウバカマ自然群生地観察。
(2) 東海自然歩道観察会は7月で完歩となるが、10月より折り返しのコースで継続。

承認事項

- ① 工作用具の購入: 大寺さんに依頼中。
- ② 会のロゴマーク: 他からの案と寺田さんの案とも総会に提案する。

その他

- ① アースデイへの出展: ブース1画を申し込む。竹細工の工作指導。
- ② 新年度総会の行事を5月11日(日)に開催する。場所は事務局にて手配。
- ③ 新年度の会費徴収は、振り替え入金とする。総会の案内状と同送する。

おねがい

- ・ 平成15年度の会費3000円(家族会員は1000円)の納入をお願いします。

ほしゅう

- ・ ロゴマークを会員の皆様から募集しています。
親しみ易いものをお寄せください。 <下記「会事務所」まで>
- ・ 会誌「奈良・人と自然の会」への投稿をお願いします。
皆さんの活動や身近で気づいた事、なんでも結構です。 <下記「連絡先」まで>

編集後記

各部の決定事項や連絡事項は3月20日までに下記までお送りください。

連絡先 有本 倍美:

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫